



AUE News



2012年10月1日

第 48 号

編集・発行
愛知教育大学広報部会
TEL 0566-26-2738
FAX 0566-26-2500

目次

- 行事予定(10月1-15日)
- トピックス
 - ・キズナ強化プロジェクトによるクック諸島学生との交流会
 - ・大学改革フォーラム
 - ・9月卒業式
 - ・講演会「教師を目指す学生・院生に贈る言葉」
- お知らせ・報告・投稿
 - ・ダンス部全国大会初出場で入選
 - ・ブックツアー購入図書を附属図書館で展示
 - ・松田学長が協定校南京師範大学訪問、同大創立110周年記念式典に出席
 - ・附属高等学校創立40周年記念式典
 - ・催しもの案内

行事予定(10/1-15)

- 2日(火) 役員部局長会議 (10:00～ 学長室)
- 3日(水) 教務企画委員会 (13:30～ 第二会議室)
学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)
大学改革推進委員会 (15:30～ 第三会議室)
- 9日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
- 10日(水) 教育創造開発機構委員会 (9:30～ 大学会館中会議室)
代議員会 (14:00～ 第五会議室)
教育研究評議会 (代議員会終了後、第五会議室)

トピックス

キズナ強化プロジェクトによるクック諸島学生との交流会(9/21)

9月21日(金)、オセアニアのクック諸島ニウエから学生43人(高校生36人、大学生7人)と現地からの引率者2人、日本人引率者ら計51人が本学を訪れ、本学附属高校の生徒・本学学生と交流会を行いました。交流会は東日本大震災後の復興を目指した外務省「キズナ強化プロジェクト」の一環です。大学訪問の対象校として本学に白羽の矢が立ちました。



昼食会(大学会館中集会室)は宮川秀俊国際交流センター長、附属高等学校の稲澤由以教頭の英語のあいさつで始まり、笑い笑顔が溢れる会となりました。その後、高校生は附属高校で英語の授業に参加し、附属高校生徒とダンスを踊るなどして、大学生は互いに自国紹介を行い理解を深めました。さらに、全来訪者の前で青木裕樹さん(大学院発達教育科学専攻1年)、大河原尚吾さん(国際文化コース3年)が東日本大震災の復興支援ボランテ

ィアの経験を語りました。最後に返礼としてクック諸島ニウエの迫力ある民族舞踊が披露されました。

交流会の司会を英語で務めてくれた大崎晴香さん（国語選修4年）をはじめ、学生たちは来訪者と積極的に交流し、オセアニアに興味を持った様子で、学生の底力と積極性に明るい未来を感じた一日でした。

（社会科教育講座 講師 嶺崎寛子）



大学改革フォーラム(9/21)

9月21日（金）、午後1時半から約3時間、本学第五会議室において役員会主催で標記の集会を開きました。参加は61人。都築繁幸理事、白石薫二理事の司会で進めました。

第一部「話題提供」として、北海道教育大学長本間謙二氏には、北海道教育大学改革プランにおける新学部構想案を含む改革構想を報告していただき、豊富なPPT資料を通して同大学の改革の背景や方向性が語られ、本学における今後の改革構想にとっても示唆に富むものでした。東京大学理事（前文科省高等教育局長）の磯田文雄氏には、我が国の高等教育政策を立案・具体化してこられた立場から、最近の「大学改革実行プラン」や「ミッションの再定義」さらには8月28日（火）の中教審答申の修士レベル化問題に至る総括的で明快な報告をしていただき、今後の本学の取り組みに示唆を得ることができました。膨大なレジュメが学習資料ともなりました。



第二部では、「これからの大学改革を語る」として、本間北教大大学長、磯田東大理事に本学松田正久学長が加わって、コーディネーターを折出が務め、約1時間質疑討論を行いました。主な論点としては、①北海道教育大学の改革において地域や学生のニーズをどう捉えているのか（岩崎公弥理事、後藤ひとみ教授）、②同大の改革において附属学校問題はどのように位置づいているのか（宮川秀俊附属学校部長→本間氏に）、また附属問題は文科省の「大学改革」プランの中でどういう扱いなのか（同、磯田氏に）、③文科省の言ってきた「タスクフォース」の件はその後どうなったのか（松田学長）一の質疑がありました。その詳細はここでは割愛します。

最後に、折出から「教員養成の修士レベル化をお二人はどう見えていますか」と、本間・磯田両氏に投げかけました。本間氏は、修士レベル化へのコミットが、北教大のプラスの進展につながる可能性はあること、磯田氏は、それは修士号をもって教師になる、のではないこと、その改革にとって最後は各大学の教員の自主的思考と改革の自律的取り組みが鍵を握ることを語りました。修了後、第二生協食堂で講師のお二人を交えて懇親会を持ちました。



（総務担当理事 折出健二）

9月卒業式(9/28)



2012年度の9月卒業式が9月28日（金）午前10時30分から、第五会議室で行われました。

この日、卒業を迎えたのは15人。入学年度で2008年度9人、2007年度4人、2006年度1人、2004年度1人。所属課程別で教員養成課程10人（うち初等教育教員養成課程7人、中等教育教員養成課程2人、障害児教育教員養成課程1人）、旧学芸4課程2人（国際理解教育および情報教育

各課程が各1人)、現代学芸課程3人(国際文化コース1人、情報科学コース2人)です。このうち、卒業式には9人が出席し、松田正久学長から一人ひとりに学位記が手渡されました。

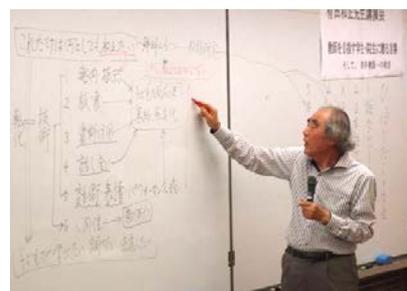
松田学長は「愛知教育大学での学びを土台に、広い視点から物事を考え、自らの意思で判断し、それぞれの分野で自らを鍛え、常に外の世界に目を向けて力強く成長されますことを期待します」などと告辞し、卒業生を祝福。これを受けて卒業生代表の赤理由紀乃さんが「愛知教育大学で培った知識、経験を生かして、社会で幅広く活躍していきます」と力強く抱負を述べました。



講演会「教師を目指す学生・院生に贈る言葉」(9/29)

9月29日(土)の午後、東北福祉大学特任教授・有田和正先生の講演会「教師を目指す学生・院生に贈る言葉 そして、若手教員への助言」(主催・教育創造開発機構教員養成高度化センター)が本学で行われました。有田先生は、戦後日本において「時代を拓いた教師」の一人です。

「愛教大は退官以来13年ぶりだが、どういう大学に変わっているか楽しみにしてきました。学生の明るさは変わっていませんね。しかし東北の先生方は明るいとはいえません。東北の先生方を明るくするのが自分の義務だと思っています」との、愛教大の元教授であり、現在は東北福祉大学特任教授である先生ならではの、温かいお言葉から講演は始まりました。



その後、網走の刑務所、オリンピック、産業革命、草食系男子(ロールキャベツ系男子とアスパラベーコン巻き男子)、糖尿病の検査法、京都の寺の数、浅草寺の門前町、彼岸花の開花と土の温度、京の漬物、名古屋駅のどのホームにあるきしめん屋が一番美味しいのか、愛知県は教材の宝庫(御津町のシクラメン、岡崎の石工、蒲郡の温泉ミカン、一色の鰻、安城のイチジク、祖父江のギンナン)…と次々と話題が提供

されました。

笑いの渦に包まれた会場の120人の聴講者は、それぞれ知的刺激と自己研磨のためのヒントを確かに得た様子でした。(教員養成高度化センター長 添田久美子)

お知らせ・報告・投稿

ダンス部全国大会初出場で入選(報告)



本学ダンス部が「第25回全日本高校・大学ダンスフェスティバル」[8月8日(水)~8月11日(土)に神戸市で開催]に初出場し、入選を果たしました。学長をはじめ体育の教員や学生多数の見学の下、7月27日(金)の大学内で行われたお披露目会からさらに作品改善を重ね、練習も積んできたため、自分たちの練習成果を堂々と本番で出しきることができました。舞台からはけた直後、部員たちはみな「とても気持ちよかった」と声を揃えて言い、自分たちの演技に満足することができました。「10カ月以上にわたり、試行錯誤を繰り返してきた作品が良い結果を残すことができとても嬉しい」「入賞こそ逃したが、決戦の舞台で照明を浴びて踊れて本当によかった」と部員たちは話していました。

ダンス部は成瀬麻美助教（保健体育講座）の指導の下、この大会の他、年に複数の舞台をこなし、新しい作品を発表し続けています。今後は更なる飛躍を目指し、より良い作品をつくるためにさまざまなワークショップに参加したり、舞台公演を鑑賞するなど日々努力を続けています。
（ダンス部主将 渡部紗千）

ブックツアー購入図書を附属図書館で展示（お知らせ）

附属図書館では8月28日（月）から2012年度ブックツアー（夏）購入図書の展示が始まりました。



ブックツアーとは学生と図書館職員が直接書店に出向き、図書館に備え付けてほしい本を実際に手に取り選書をする企画。蔵書の充実を図るほか、学生に図書館の業務を体験して図書館を身近に感じてもらうことを目的として一昨年から実施しています。

今回は7月25日（水）、三省堂書店名古屋高島屋店にてブックツアーを実施し、学生6人（自然科学、初等社会、造形文化、初等美術、中等美術）が参加しました。

約2時間の選書時間を設け、学生たちは店内を巡って思い思いに選書に取り組み、美術や歴史、自然科学などさまざまなジャンルの図書106冊を選書し、終了しました。

参加した学生たちからは「高額な図書を選書できた」「多くの専門書をみることができた」「また参加したい」といった声が寄せられ大変好評でした。

附属図書館ではこれらの図書を論文作成や研究等に広く利用してもらうため、本館2階カウンター前に展示スペースを設置。来館した学生の中には展示スペースで足を止め、図書を手に取る姿も見られました。図書はほとんどが貸出可能（参考図書のため貸出不可のも一部あり）で既に貸出された図書もありますが、予約も受け付けています。

購入図書リストは展示スペースに一覧があるほか、附属図書館ホームページの「図書館情報」からも閲覧可能です。

展示は10月31日（水）まで行い、その後は通常通り書架に配架される予定です。

（情報図書課 附属図書館資料受入担当）



松田学長が協定校南京師範大学訪問、同大創立110周年記念式典に出席（報告）

本学の松田正久学長は9月7日（金）～11日（火）の日程で、南京師範大学国際交流センターの招待より南京師範大学を訪問し、同大創立110周年記念式典に出席しました。

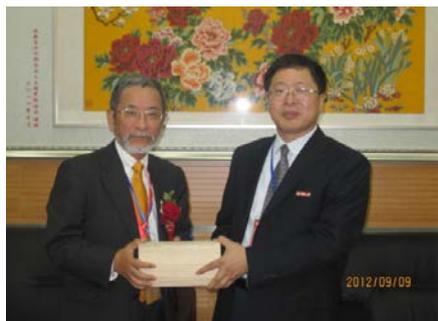
9日（日）午前8時30分頃、南京師範大学国際交流センターの手配で、他の参列者と一緒と同大の仙林校舎に到着後、まずキャンパス内を一周しました。10時頃、同校舎にあるスポーツスタジアムで開かれた記念式典に列席し、貴賓として会場のひな壇の席に着いて発言者のスピーチに耳を傾けていました。スタジアムには中国国内の関係者と海外11カ国の13大学の来賓及び南京師範大学の教職員代表、在学生代表合わせて約2000人が参列しました。式典は盛大な雰囲気の中で行われました。

午後、学長は南京師範大学国際交流センター主催の外国文化デーの除幕式に出席した後、同大の日本人留学生たちが出店した仮店舗に顔を出し、細かい雨の中、参加者一同と歓談しました。

午後4時20分頃、同仙林校舎にある芳菲楼(FangFeiLou)で、記念式典へ参列した12カ国の学



長によるフォーラムが開催されました。松田学長はパワーポイントを使って、「日本における教師の教育システムの改革について」という題名での講演を流暢な英語で行いました。



同フォーラムに先立ち、松田学長は宋永忠学長及び海外からの参列者と一緒に記念撮影をしました。その後、本学の記念品を同大田立新副学長に贈呈し、お祝いの言葉を述べました。

8日(土)と10日(月)は南京師範大学国際交流センターの手配で他の11カ国12大学の来賓らと共に南京市内と揚州市内を視察しました。

滞在中、高建平国際交流センター長、汪少華副センター長、林敏潔外国語学院特任教授らと会見したほか、同式典に参列された関東学院大学大野功一学長、施桂栄国際中心所長とも交流を行ないました。本学学長には私、時衛国が同行しました。
(外国語教育講座 教授 時衛国)

附属高等学校創立40周年記念式典(報告)

9月13日(木)に大学講堂で、「愛知教育大学附属高等学校創立40周年記念式典」が行われました。

オープニングは吹奏楽部の演奏および合唱部による祝典序曲「碧海野」(式典歌)、全校生徒による校歌合唱に始まり、PTA会長の小山真臣氏、同窓会長の伊藤正人氏からご祝辞をいただきました。続いて生徒会長の澤口侑兵君による誓いの言葉、校長の早瀬和利氏による謝辞があり、最後にエンディングとして吹奏楽部の演奏による「あすと



いう日が」を全校生徒で合唱して幕を閉じました。この曲は東日本大震災の復興支援ソングとして各地で歌われた曲ですが、この式典のフィナーレを飾るにふさわしい素晴らしい合唱となりました。約40分の式典でしたが、式典後に大学講堂で本校の文化祭である「碧海野祭」が引き続き行われました。当日は保護者や卒業生など多くの方々に参加され、講堂1階席が満員になるほどでした。

(附属高等学校 教務主任 安形和之)

催しもの案内

◆第57回東海地区国立大学文化祭

10月13日(土)9:30~、14日(日)10:00~ 入場無料

知立市文化会館パティオ池鯉鮒(知立市上重町間瀬口116)

演劇部門:演劇・奇術・能楽、美術部門:絵画・写真・手芸、音楽部門:バンド・合唱・合奏。演劇部門は13日のみ。

参加大学:三重大学、静岡大学、名古屋大学、岐阜大学、浜松医科大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、愛知教育大学

問い合わせ:学生支援課 TEL 0566・26・2177

◆愛知教育大学大学院教育実践研究科(教職大学院)体験授業

10月17日(水)13:30~14:40

第一共通棟103教室

内容:①「生きる勇気を与えることばの学習—伝統文化授業開発と言語の教育—」

講師:佐藤洋一教授(授業研究・評価論)

②「身近なものを教材化してみよう」

講師・萩原孝准教授（教科教育・社会科）

授業終了後に入試説明会を実施。

申し込み：（人数確認のため）所属、学年、名前を下記へ送信。当日参加も可。

support_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

問い合わせ：教務課教職大学院担当係 TEL 0566・26・2679

◆教育創造開発機構「リベラル・アーツ型教育の展開」シンポジウム 2012

10月27日（土）13:00～17:00

ウインクあいち（名古屋市名駅4-4-38）

テーマ：教員養成系大学におけるリベラル・アーツ—教養教育の内容・方法・評価のあり方を考える—

対象：大学教職員・教育関係者・一般

定員：先着100人 要予約

申込締め切り：10月9日（火）

問い合わせ：教育創造開発機構運営課 TEL 0566-26-2717・2718

編集後記



「祝・国体出場」「祝・全日本大学女子駅伝対校選手権大会出場」一。本部棟には現在、2枚の懸垂幕が掲げられています。9月29日に開幕した「ぎふ清流国体」には、陸上競技で中野弘幸さん・武蔵千里さん・堂之下藍さん、空手道で山本和弘さん、水泳で松藤優衣さんが出場。10月28日に仙台市で行われる大学女子対校駅伝には、本学が24年ぶりに出場します。それぞれの地道な努力が、全国レベルの舞台へとつながりました。そんな朗報に、こちらも元気をもらいます。日ごろの鍛錬の成果を発揮して、悔いのないよう闘ってほしいものです。駅伝はテレビ中継もあります。テレビの前で愛教大チームを応援します！（K）

投稿のお願い

学内外の出来事（教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など）に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール：kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者：総務担当理事 折出 健二